UNI-PEX

ワイヤレスマイクロホン

WM-8330A

取扱説明書

技術基準適合証明品



このたびは、ワイヤレスマイクロホンをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

はじめに

■商品概要

・本機は、充電専用のプレストーク型ワイヤレスマイクロホンです。
　充電器は、ワイヤレスマイク用充電器WP-8002 (別売品)をご使用ください。
・PLLシンセサイザー方式の採用により、送信周波数の設定ができます。
・コンピューター雑音、調光コントロール雑音などの影響を受けにくい800 MHz帯を採用しています。
・1回の充電で約20時間(20%使用率、5時間充電時)使用できます。
・抗菌樹脂を採用しています。

■付属品をご確認ください

足りないものはありませんか。万一、不足のものがありましたら、お手数ですがお買い上げの販売店にご連絡ください。

チャンネル設定用小型ドライバー. 1
チャンネル表示ラベル 1
取扱説明書(本書). 1
保証書. 1

安全上のご注意

必ずお守りください

●ご使用の前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。

●お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。左図の場合は一般的な行為を指示する表示です。

⚠危険

下記の注意を守らないと、火災・破裂・発熱により死亡または重傷などの人身事故が生じます。

充電式電池に強い衝撃を与えない（禁止）

ハンマーなどでたたいたり、釘などを打ち込まないでください。発火・破裂の原因となります

充電式電池を分解しない（分解禁止）

電池内部の液が飛び出し、目に入ると失明の原因となります

充電式電池の＋－端子をショートさせない（禁止）

発熱・発火の原因となります。

充電式電池を火の中に入れない（禁止）

火気にも近づけないでください。発火・破裂の原因となります。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解／改造はしない（分解禁止）

火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。

航空機内では電源を切る

運航の安全に支障をきたす恐れがあります。

医用電気機器に近づけない（手術室、集中治療室、CCU*等には持ち込まない）（禁止）

本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。
*CCUとは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くで使用しない（禁止）

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

上手な使いかた

■取扱上のお願い

技術基準適合証明ラベルについて

本機は、電波法で規定される技術基準適合証明品です。機器一台一台にその証明番号(証明ラベル)が貼ってあります。みだりに剥がしたり損傷の無いようご使用ください。

違法改造しないで

本機を分解したり、内部の部品に触ったりしないでください。改造することは法律で禁じられています。

取り扱いはていねいに

床に落としたり、物に当てたりしないでください。

マイク本体に水は禁物

水に濡れた場合はすぐに乾いた布で拭いてください。

周囲温度は0℃〜＋40℃

10 ℃以下になりますと、使用電池の寿命が短くなりますので、動作時間などにご注意ください

放置しないで

アンプの上や夏の閉め切った車内のような温度の高いところや、湿度の高いところには放置しないでください。

ニッケル水素電池について

不要になったニッケル水素電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないでニッケル水素電池のリサイクルに協力ください。

Ni-MH

■使用上のお願い

マイクと口との距離

マイクは口から2〜5 ㎝離してご使用ください。明瞭でひずみのない音を再生します。また、マイクに大きな音が連続的に入ると音がひずみます。

話すとき

プレストークスイッチを使用しておりますので、話す前にプレストークスイッチを押し、話し終わったら、プレストークスイッチを離してください。不必要な電池の消耗を防ぎます。

ハウリングについて

せまい室内でしかもスピーカの近くで使用するとハウリングをおこすことがあります。その場合は受信機のボリュームをしぼるか、マイクの使用位置を移動してください。

充電について

- 初めて使用する場合や、長い間(1ヵ月以上)使用していなかった場合などは、必ず充電してからご使用ください。
- 充電器は、必ずワイヤレスマイク用充電器WP-8002(別売品)をご使用ください。

電波の到達距離は

本機とワイヤレスアンテナ間は、屋外で約60 ｍ、屋内で約30 ｍまで離れて使用できます。これ以上離れると使用できません。(上記の距離は、受信設備各機器の感度設定スイッチなどが出荷時の状態の場合)

雑音が入るときは

- ワイヤレスアンテナに近づけてご使用ください。そのときの距離は、2〜10 ｍが適当です。ワイヤレスアンテナから2 ｍ以内に近づくと、使用していないチャンネルへの飛び込みや混信など受信機が誤動作することがあります。
- 受信機やワイヤレスアンテナはディジタル機器や高周波雑音のでる機器などから、できるだけ離して設置してください。(5 ｍ以上)

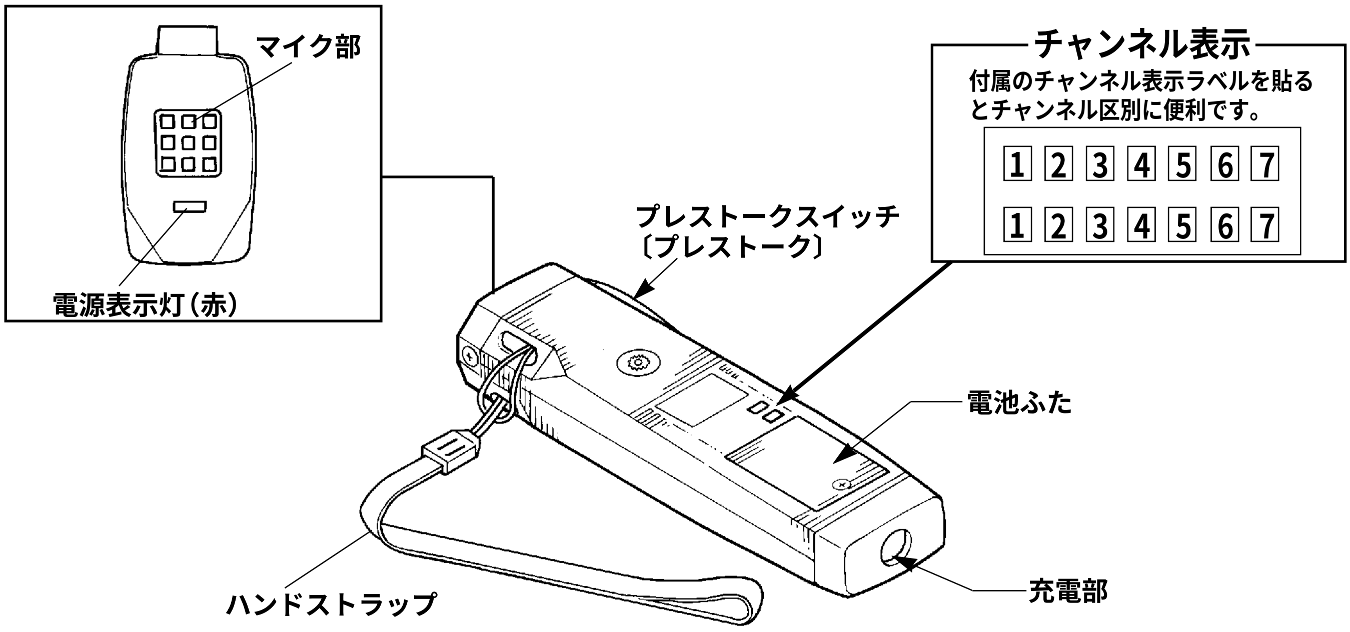
マイクどうしは、50 ㎝以上離して使用する

- 2本以上を50㎝以内で同時に使用すると、他の受信機へ混信することがあります。
- 金属などが、使用しているマイクの前面ネットに接触すると、雑音が発生する場合があります。

強い電波を発する機器に近づけない

- 携帯電話など強い電波を発する機器に近づけると、ノイズが発生します。(携帯電話は、同じ800MHz帯を使用しているため、混信します)

各部の名前と働き



マイク部
電源表示灯（赤）
チャンネル表示
付属のチャンネル表示ラベルを貼ると
チャンネル区別に便利です。
1 2 3 4 5 6 7
1 2 3 4 5 6 7
プレストークスイッチ
〔プレストーク〕
電池ふた
充電部
ハンドストラップ

周波数設定のしかた

・マイクと受信機は、同じ周波数に設定してください。
・同時に使用するマイクは、グループを全て同じにし、チャンネルを変えてください。(同グループ、異チャンネル)

■周波数設定のしかた

1.電池ふたを開ける。

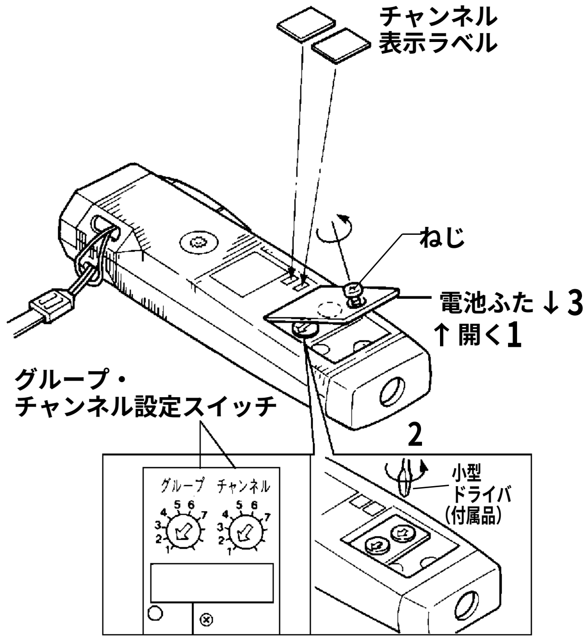
ドライバで取付ねじをゆるめて、矢印方向(右図参照)に開きます。

2.グループ・チャンネルを設定する。

小型ドライバ(付属品)で、受信機のグループ・チャンネルと同じ数字に合わせます。

3.電池ふたを閉める。

元通りにしっかり閉めます。



■グループについて

● 同じ場所で複数のマイクを同時に使用するときは、1つのグループに統一して使用します。
学校の教室のように複数の部屋で使用する場合は、部屋ごとにグループを割り振ります。

- ・グループ1〜4……最大6波まで。
- ・グループ5………5波まで。
- ・グループ6………1波まで。
- ・グループ7………7波まで。ただし、隣接した部屋の他のマイクは使えません。

お願い
送信周波数表(7ページに無いグループ・チャンネルに設定して電源スイッチを「ON」にすると、電源表示灯は早い点滅をし送信できません。そのままの状態にしておくと、乾電池を消耗します。

充電式電池の交換・確認のしかた

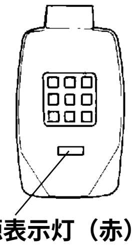
●本機の電池は、充電式です。
　つぎのような場合は、内部電池が完全放電に近い状態です。すみやかに充電を行ってください。
　・プレストークスイッチを押しても、電源表示灯が点灯しない場合
　・電源表示灯が遅い点滅をした場合

●充電器は、必ずワイヤレスマイク用充電器WP-8002(別売品)をご使用ください。

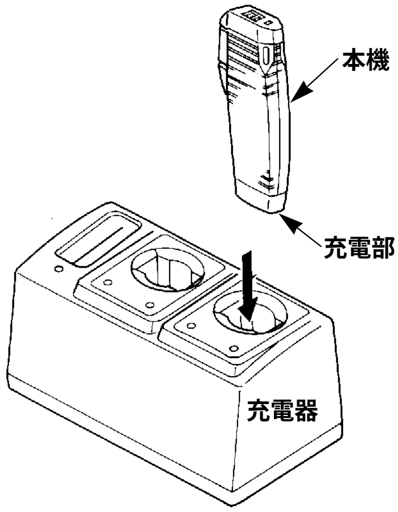
お願い
・充電器WP-8002の取扱説明書を合わせてご参照ください。
・初めて使用する場合や、長い間(１ヵ月以上)使用していなかった場合などは、必ず充電してからご使用ください。

■充電のしかた

・ワイヤレスマイク用充電器WP-8002(別売品)のワイヤレスマイク差し込み口に、マイクの充電部を下にして入れます。(方向性はありません)
・約5時間で充電が完了し、充電完了表示灯(緑色)が点灯します。



・充電途中でワイヤレスマイクを差し込み直すと、最初から充電を開始し、過充電になりますのでご注意ください。
・充電は、できる限りワイヤレスマイクの電源表示灯が点滅してから行ってください。点滅前の充電を繰り返すと、ワイヤレスマイクの使用時間が短くなる場合があります。(充電池パックのメモリー効果)メモリー効果が発生したら、ワイヤレスマイクの電源表示灯が点滅するまで使用してから充電してください。



●電池の交換について

・内部に使用している電池の充放電回数は、約500回です。
　これ以上の回数を過ぎた場合や電池が古くなってくると、充放電効率が大幅に低下します。
　早めに交換してください。交換の際は、販売店にご相談ください。

定格

トーン信号	32.768 kHz
電波形式	F9W
発振方式	水晶制御PLLシンセサイザー方式
変調方式	リアクタンス変調方式
空中線電力	2 mW
到達距離	ダイバシティ受信機WTD-8121、8141 システムにて約60 m(屋外)
変調感度	±5 kHz FM(96 dB SPL 1 kHzにて)
使用マイク	無指向性エレクトレットコンデンサーマイクロホン
周波数特性	100 Hz～10 kHz(1 kHz　基準50μsエンファシス)
最大入力音圧	126 dB SPL
入力等価雑音	38 dB SPL以下(Aカーブ)
使用電池	ニッケル水素蓄電池
消費電流	約75 mA（1.2 Vにて）
電池寿命	約20時間(20%使用率時：注1)(5時間充電時)
使用温度範囲	0℃～＋40℃
寸法	45（幅）×164(長さ）×25(厚さ）㎜
質量	約120g（電池含む）
仕上げ	ダークブルーメタリック調樹脂仕上げマンセル2.5PB2/2 近似色

（注1）1分使用で4分休止の繰り返し

送信周波数（0.125MHz間隔、30波）							
周波数	グループ(下2桁目)・チャンネル（下1桁目）						
(MHz)	1	2	3	4	5	6	7
806.125	B11						B71
806.250		B21					
806.375	B12						B72
806.500		B22					
806.625			B31				
806.750				B41			
806.875			B32				B73
807.000		B23					
807.125	B13						
807.250						B61	
807.375			B33				
807.500				B42			B74
807.625					B51		
807.750	B14						
807.875		B24					
808.000				B43			
808.125					B52		
808.250			B34				
808.375					B53		
808.500		B25					B75
808.625			B35				
808.750					B54		
808.875		B26					
809.000	B15						
809.125				B44			
809.250			B36				
809.375				B45			B76
809.500	B16						
809.625					B55		
809.750				B46			B77

製造元 日本電音株式会社
発売元 ユニペックス株式会社

#KTWM8330A-H0-2